

○ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再提案（・・・第 回総会； 市）		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他（ ）	分野	<input checked="" type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	県民文化部・教育委員会事務局
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	3 高等学校における薬物乱用防止啓発講座の開催について		
提案市	松本市		
提案要旨	違法薬物に関する知識等を高めるため、薬物乱用防止啓発講座を県内すべての高等学校で年1回は開催することを要望する。		
提案理由	<p>松本市では、青少年による薬物乱用を未然に防ぐため、薬剤師会、警察署、保健福祉事務所の協力により、毎年30校以上の小中学校で薬物乱用防止啓発講座を開催し、4,200名以上の児童・生徒が受講している。</p> <p>違法薬物は身近なところに存在するという危機意識を持って、高等学校においても毎年1回は薬物乱用防止啓発講座を開催し、啓発防止効果をさらに高められるように提案する。</p>		
現況及び課題等	<p>(1) 薬物の最新情報は日々変化しており、新しい情報での教育が必要である。</p> <p>(2) インターネットの普及に伴い、一般の高校生が薬物を簡単に入手できてしまう状況がある。</p> <p>(3) 中信地区薬物乱用対策推進協議会の資料によると、高校生を対象とした意識啓発事業を平成28年度に4校実施し、29年度も4校実施で計画しているが、中信地区には24校の高等学校があるため、在校中に受講できない生徒が生じている可能性がある。</p> <p>(4) 平成28年度松本市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会（H29.3.22開催）において、高校生への対策強化について要望が出されている。</p>		
法令関係			